

# マルコの家通信 Vol.12 年始号 (Web版)

平成26年8月11日～11月30日までの  
バザー及びプレゼンテーション等収入報告

内容	回数	収入
バザー	2	12,488円
プレゼンテーション	5	118,000円
協働フェスタ	1	400円
合計	8	130,888円

多くの皆様にご協力頂き、上記の収入を得ることができました。全額、マルコの家の子ども達の福利厚生、及び生活費に充てさせていただきます。今後ともよろしくお願い致します。

## 寄付を頂きました皆様、心より感謝いたします(H26.8～11)

カトリックつくば教会 信徒会 様	川村 智子 様
カトリック浦和教会 共に生きたい会 様	川辺 鉄三郎 様
カトリック川口教会 たこやき隊 様	船田 登美子 様
カトリック那珂教会 様	田口 加寿子 様
カトリック本庄教会 様	島田 紀子 様
伊原 高弘 様	日向野 幸子 様
菊池 則子 様	八木橋 文夫 様
溝口 維子 様	百相 由希子 様
高橋 あい 様	米田 桂子 様
小深田 宣子 様	牧山 節子 様
西田 百合子 様	木下 恵美子 様
青田 隆子 様	木谷 英子 様
青木 郁子 様	木田 眞一 様
齋藤 昌子 様	

## 寄贈して頂きました皆様、感謝

木下 美恵子 様	中村 朝子 様	大島 様
生沢 ミヨ子 様	駒崎 稔子 様	近龍寺 様
関口 ふみこ 様	田中 徹 様	大原 様
坂根 みち子 様	大出 マサヒロ 様	関根 様
鹿沼 清一 様	三松会 様	玉田 様
大橋 健治 様	くらら 様	山形 様
須藤 光三 様	朝田きのこ園 様	くらら 小林 様
福田 君子 様	フードバンクとちぎ 様	アサヒビール 内田 様
自立援助ホーム みらい 水野ホーム長 様		

※順不同で掲載しております。他にも匿名で寄贈して下さった方もいらっしゃいます。  
H26.11.30 〆

## 2015年3月1日(日)14:00～ ゆうゆうプラザにて

DARC(薬物依存症リハビリ施設)所長によります講演会を予定しています。  
是非、お誘い合わせの上お越しくださいませよう、よろしくお願い致します。

## ◆MARCO HOME NEWS◆

9月15日の映画上映会「トークバック～沈黙を破る女たち～」にお越しいただきました皆様、ありがとうございます。また、遠方よりお越しいただきました、坂上香監督にも職員一同、心よりお礼を申し上げます。当日はマルコの家の子ども達もお手伝いをしてくださいました。無事に上映会を終えることができたのも、ご来場いただいた皆様と、ご協力いただいた皆様のお陰です。次のイベントもお楽しみに♪

花王株式会社様より、洗濯洗剤とシャンプー、コンディショナーを寄贈していただきました。子ども達も「いいにお～い」「髪がサラサラする～」と感動していました。ありがとうございました。

## ◆MARCO HOME FOCUS◆

マルコ通信「年始号」では、マルコの家の子どもに将来の夢を語ってもらいました。10代で社会的自立を強いられ、自立援助ホームへとやってくる子ども達は、生きていくために仕事をしていかなければならないという厳しい現実を突き付けられます。資格も経験もない若い彼らが社会に出て働くということは、そう容易なことではありません。しかし、家庭や親族から支援を受けられない彼らは、働いて自分たち自身で生活費を稼がなければなりません。そんな厳しい現実の中でも、子ども達はかすかに見える希望の光を頼りに、夢を思い描きます。

幼い頃から限られた選択肢の中で必死に生きてきた子ども達は、周囲の同世代の子ども達と自分では今後生きていく環境が明らかに違うことに気づき、失望や絶望を感じる事が少なからずあったと思います。それでもやりたいことをあきらめず、目標に向かい未来へと歩んでいく姿を見ると応援せずにはいられません。自分の夢を言葉にして大人に話す機会は今までなかったとい教えてくれたC君。笑われるんじゃないか、無理だと思われるんじゃないかと悩みながらも、原稿用紙いっぱい夢を書いてくれたC君を私はとても誇らしく思います。

マルコ通信を手にした皆様にも、ぜひC君の夢を、そしてマルコの家の子ども達の夢を温かく見守り、支援して頂けたら嬉しいです。

### 将来の夢

私の将来の目標は難民支援などの人道支援の仕事をする事です。

私がこの仕事を目指したいと思ったきっかけは、ニュースや新聞でアフリカや中東での飢餓や紛争などで苦しむ人々を見て、その人々を助けたいと思ったことです。しかし、この仕事はなりたいたと思ってても簡単になれる仕事ではありません。そのわけは英語をはじめとするさまざまな言語を学ばなければならないからです。そのほかに海外で活動するのに必要な専門的な知識も求められます。そのためには私は大学で学ぶ必要があると考えます。大学に行くために私は今、仕事をしながら勉強をしています。苦手な勉強もありますが、周りの人たちに教えてもらいながら頑張っています。

また私は今、子ども支援や地域支援、高齢者支援などのボランティアをしています。私はこのボランティアを通して、障害者と接する機会があり、その中で学ぶことができました。私は今まで障害者を大きくひとくりに捉えていましたが、それは間違いで、一人ひとり個性があり、求められるニーズが違うということです。このボランティアの経験が人道支援の仕事に就くのにきっと役に立つと思いました。私は様々なボランティアを今後も継続していくうえで、日々学んだことを忘れず、自分の成長に結びつけ、人道支援の仕事をするまでの土台作りをしていこうと思っています。

今はまだ学ぶことがたくさんありますが、私はこの目標を達成するために精一杯努力していくつもりです。

2014.12.3 H.C(17歳)♂

### 【編集後記】

いつもマルコ通信を読んで下さる皆様ありがとうございます。私事ではありますが、2014年12月31日をもって、マルコの家を退職することとなりました。今後もマルコの家の子ども達とは関係を切ることなく、遊びに來たり、話を聞きに來たりと継続した支援をしていこうと考えています。3年9か月という短い期間でしたが、悩んだ時、立ち止まりそうになった時、それでも子ども達と共に日々を過ごすことができたのは、支えて頂いた方々のサポートがあったおかげです。お世話になりました皆様には心から感謝をしています。本当にありがとうございました。今後ともマルコの家のご支援をよろしくお願い致します。 関口 栄利子